

第2回 米沢養護学校就労コース設置準備委員会【記録要旨】

- 1 日 時 令和2年12月21日（月） 11:00～12:00
- 2 場 所 県立米沢養護学校会議室
- 3 協 議

◇就労コースの重点

- ・ 就労に向けた職業教育
- ・ 職業適性を踏まえた進路指導
- ・ 置賜地区の企業等と連携・協力した地元での就労支援

◇就労コースの教育課程

- ・ 職業自立に必要な力（知識、技能、態度等）や社会人としての素養を身に付けられるよう、各教科等の学習を組織的に編成する。
- ・ 国語、数学、保健体育、情報、職業、生活単元学習、総合的な探究の時間、特別活動等を設定する。

◇就労コース施設整備

- ・ 米沢養護学校寄宿舎の改修工事を行い学習教室、作業室、男女更衣室を整備する。

<主な意見等>

（1）就労コースの重点と特徴（案）について

- ・ 米沢養護学校ならではの取り組みとして、コーヒードリップバッグ製造等を行う。また、働く力を育成するため、物作りや販売だけでなくオフィスサービスやクリーンサービスなどに取り組む。
- ・ 実習として、米沢の産業の特色である農業を取り入れることはよい。
- ・ 事業所にとって、実習の引き受けが体験期間や仕事内容によって難しい場合がある。学校は関係機関と連携を図り、具体的な情報を得ながら実習先を開拓していく。
- ・ 就労コース設置に向け、地域とのつながりと連携が大切である。

（2）就労コース教育課程（案）について

- ・ デュアル実習では、一定期間、地域の事業所に出向き、幅広い職種の経験を通して実践的に働く力を身に付ける。
- ・ 就労コースの教育課程と卒業後の進路先の情報を具体的に周知すると、中学校の進路指導に活かすことができる。
- ・ 将来の生活に欠かすことができないパソコン操作技能の習得に向けた「情報」の授業設定はよい。また、技能を身に付けることで就職先の選択肢が広がる。

（3）就労コース施設整備（案）について

- ・ 必要な教室や実習の部屋を確保するとともに、寄宿舎の物置や洗濯室等の既存設備を十分に活用していく。
- ・ 地域の方と交流するスペースを設置する。米養コーヒーの提供や作業製品販売等を通して、地域の方との交流を深め、就労コースの特色にしたい。